



えんだより

令和7年12月1日
中道山こども園長
五十嵐雅樹



第46回幼児音楽フェスティバル新潟県大会

新潟テルサで行われた今回の大会を子どもたちは立派にやり遂げました。素晴らしいです。

子どもたちは堂々としていました。何よりもこの大会場で大勢の方々の前で、楽しんでいる様子が伝わりました。本当によかったです。お家の方も子供の成長に目が潤んでいた方も多かったですとれます。

さて、今回の大会から運営方法が少し変わりました。今まではNPO法人に運営をすべて任せ、園は出演するだけでした。しかし現在、子どもの主体性を大事にしようという今の保育の流れの中で、出演する園ももっと運営に係らうということになりました。それでチケット制ではなくなりました。

今回中道山こども園が事務局（当番校）になり、大会を運営しました。その関係で、事前の企画から前日の準備・当日も朝早くから裏方となり会全体を見回していました。（多々不手際もありご迷惑をおかけしたこともあるかと思いますが、アンケートでお知らせください。）

それで私は、一から十までこの大会のすべてを観ていましたが、園児の発表では、何といっても「中道山こども園」が一番でした。手前みそではありません。大会の事務局長として、全部を見ている中でも中道山が「ぴかー」でした。それは、子どもたちがみんなしっかりと自分を表現していくからで、何といっても楽しんでいたからです。

子どもにとつて大きな自信になりました。ゆり組さんはこれを力に小学校に進んでください。きく組・さくら組さんも大きな階段を登りました。本当によく頑張りました。